

# バク通信

一三五号

令和二年七月十日発行

社会福祉法人「ゼノ」少年牧場

ゆめサポート・バク

福山市神辺町東中条301-6

TEL (084) 960-2256

FAX (084) 960-2258

「二〇二〇年度自治会会長並びに役員決定」

サービス管理責任者 松岡 肖幸

新年度が始まり早いものでもう三か月が過ぎました。

新型コロナウイルスの流行と共に始まった今年度、自治会会長を選定する上で、自治会に参加する利用者の方の投票を六月中旬にすべて終えることができ、自治会会長と役員が決定しましたのでご報告させていただきます。

新会長はNさんとなり、初めて自治会会長となりました。「きんちようする、がんばります」と不安もありながら、多くの票を得て見事会長に就任されました。Nさんおめでとうございます。そして、新たな役員の方皆さん頑張りました。

今年度は残り九か月となりますが、新たな自治会役員をよろしくお願いいたします。

## 2020年度 自治会役員メンバー

会長 1名 副会長 2名

書記 1名 会計 1名

\*色々制限のある今年度ですが、少しでも楽しく過ごせるよう頑張ります！



## 「第1回 自治会プレゼンツ・ポッチャ大会開催」

生活支援員 藤井 みゆき

五月三十日(土)、ソーシャルディスタンスに配慮しながら、ポッチャ大会を行いました。

バク通信前月号でもポッチャについて触れておりましたが、利用者の方だけでなく、職員も一緒に楽しめるスポーツだけに、職員が熱くなる事もしばしば…。

二人一組で競うトーナメント方式で、利用者の方と職員のチーム・職員だけのチームに分かれて進めていきました。競技が進んでいく中、『勝つにはどうしたら良いか』、各チーム作戦を練りながらの奮闘に、練習時は力任せにボールを投げ、全く自信のなかったFさんが、いざ試合になると潜在能力炸裂!! ジャックボール(核となるボール)にどンドン自分のボールを近づけていき、とうとう優勝候補のチームも職員だけのチームも倒し、圧巻のパフォーマンスの末、優勝しました。職員が本気を出しても勝てず、更に本気で悔しがる姿…。こんなに皆が楽しめるスポーツだったら、是非また行いたいと感じております。



## 「夏バテ防止」

生活支援員 江草 右子

七月になり梅雨明けも間近ですが、コロナの影響もあり疲れが始めるこの時期、少しでも自分たちで出来る対策に取り組んでみませんか? 汗をかいたら拭く、水分をこまめに摂る、睡眠不足の改善、食欲が落ちる中でも必要な栄養素を摂取出来れば夏バテ防止になります。鉄分、たんぱく質、ビタミン類、ミネラル豊富な栄養素を摂りましょう。夏の栄養食料として上げられる鰻はビタミンA、B群、D、Eと実はビタミン豊富な食材の王様です。ここ二〜三年高値が続いていましたが、なんと今期は全国的にシラスウナギが好漁で、昨年十二月の漁解禁以降、地域によっては漁獲量が前年同期の約十倍に急増したところもあるようです。今年の土用の丑の日は、安くておいしいウナギを味わえるかもしれません。

今年七月二日と八月の二日が丑の日です。みんなで夏を乗り切りましょう。



しっかり暑さ対策!



## 「花仲間」

生活支援員 佐藤 健一

四月からウエス班に異動になり、利用者さんとの関わりの中で時々お昼休憩に私が趣味で撮った花の写真を見てもらったり、花の話をしていました。

ある日、男性利用者さんの一人が自分で花をラミネートした葉とビーズで作ったブレスレットを持ってきて照れくさそうに私にくれました。また別の日には、その男性利用者さんと一緒にバクの中庭で見つけた四つ葉、五つ葉、さらには六つ葉のクローバーを綺麗にラミネートした葉にして持ってきて見せてくれました。私が、「綺麗に作ったねっ」と言うと、また照れくさそうに笑っていました。彼との距離がグッと縮まり、花仲間が増えたうれいひと時となりました。



## 「音楽療法が始まりました!」

副主任 大村 和弘

だんだん、暑くなってきておりますがいかがお過ごしでしょうか。

療育班ではコロナウイルスの関係で音楽療法を中止しておりましたが、緊急事態宣言も解除され、再開できるようになりました。

音楽療法ってどんな目的を持って行っているのだろうか? どんなことをしているのだろうか?と思われる方が多いのではないかと思います。音楽療法の目的は、健康維持・介護予防、リラクゼーション、言葉や身体のリハビリ、心のケア、人と交流する場を作るなどが挙げられます。バクで行っている音楽療法では、シンバル・太鼓などの楽器を叩く、音に合わせて指のマッサージをするなど利用者に合わせた活動を提供しています。

目を輝かせて楽器を叩いたり、気持ちよさそうにマッサージを受けている姿から、利用者みなさんにとって音楽療法は毎週楽しみにしている活動の一つなんだと改めて思いました。



「梅雨の晴れ間に」

生活支援員 月又 光子

なかなか的中しない天気予報をにらみながら梅雨の晴れ間にジャガイモの収穫をしました！花が落ち、枯れ始めたものとまだまだ花をつけているものがあり、人参の収穫も迫ってきていて毎回、掘り出す時期の判断が難しい…。

葉っぱだけを千切ったりしながらも皆で百グラムから四百グラムまでの大小様々なジャガイモを掘り出すことができました！皆の笑顔と「かわいいねえ」「でっかいねえ！」と歓声のあがるこのひと時がファーム班の醍醐味！酷暑を予感させる蒸し暑さもしばし忘れることができました。

そして、もう一つ。ジャガイモの茎に何故かミニトマトを発見！調べてみるとなかなか目にすることのないジャガイモの実だと判明しました。実の中もミニトマトそっくりでしっかり種が入っています。いったい私たちが食べているじゃがいもとはどこの部分なのか？実ではないとすると土の中にできるから根菜類か？実は、ジャガイモは「茎」の部分膨らんでできる茎菜で「塊茎かいけい」と呼ばれ、里芋も塊茎の仲間なのだそうです。サツマイモは根つこのところが膨らむ「塊根(かいこん)」とのこと。

環境に合わせて工夫を凝らして育ち、命をつないでいく。その過程は違えど、みんな違ってみんないい！そして、おいしい！強いものだけが生き残る訳ではなく、植物の世界も本当に多様であり神秘的で驚くことがいっぱいあることを実感しています。



「ジェラートって何？」

サービス管理責任者 松岡 肖幸

夏の到来と共に、皆さん「凍ったお菓子」が食べたくなってきたのではないのでしょうか？

今回は、ジェラートって何？というところをお客様より、よく聞かれることがありますのでごく簡単に説明をさせていただきます。

ジェラートっていわゆるアイスクリームなんです。ジェラートはアイスクリュームと、いうことです。違いは、イタリア語(ジェラート)か英語(アイスクリーム)だけの違いです。細かく分けると、その他に氷菓やアイスミルク、ラクトアイスなど様々な種類があります。その説明はまた、別の機会に。

凍ったお菓子 (アイスクリーム=ジェラート)

氷菓	アイスクリーム類	
	アイスクリューム	アイスミルク
	ラクトアイス	

ジェラートの誕生は、イタリア・フィレンツェ生まれのお菓子で、「凍った」という意味が語源になっています。果汁・果肉・牛乳・砂糖などを混ぜて凍らせたもので、歴史の中で最も古いものは、なんと旧約聖書に乳製品を氷や雪で冷やして食べる描写があることから、二五〇〇年前には原形となる食べ物が存在していたそうです。驚きですよね。ちなみに日本で初めてアイスクリームを食べたのは、江戸時代に遣米使節団として渡米した団員だといわれています。彼らが持ち帰ったレシピによって、私たちが今食べている凍ったお菓子の歴史が始まりました。そんなロマン溢れる歴史の流れを感じながら、ひんやりしたアルコジアーノのジェラートに舌鼓を打ってはいかがでしょうか？

2020 Summer アルコジアーノのジェラートギフト

GELATO ITALIANO Arocogiano

アルコジアーノのジェラートは、常に多岐にわたる種類を、本物の材料を使い、材料そのものの味を生かしています。ミルク以上にミルクの風味を、素材以上に素材の風味がするジェラートを目指し、お客様へ常に本物の商品を届けています。

2020 Summer Arocogiano Gelato Gift プレミアムギフト

8種類のジェラートからお好きな組合せでお選びいただけます。

8人分 2,400円 (税込・送料別)

8人分 2,900円 (税込・送料別)

12人分 3,800円 (税込・送料別)

アルコジアーノ お問い合わせ先  
社会福祉法人「せし」少年救済 ゆめサポート・バク 広島県福山市神辺町東中後 301-6  
TEL: 084-960-2256 FAX: 084-960-2258

Arocogiano Information  
アルコジアーノは、車による移動販売を行っています。ジェラートの移動販売ステーションはご自身のQRコードからご覧いただけます。

「土砂災害避難訓練」

生活支援員 柴垣 瑞穂

ゆめサポート・バクのある地域には急傾斜地崩壊危険箇所が数か所存在しています。そうした場所が身近にあることと、二年前の広島豪雨災害をきっかけに訓練の必要性を話し合った結果、毎年行っている火災想定避難訓練に加えて土砂災害避難訓練を行うこととなり六月二十日(土)に実施しました。

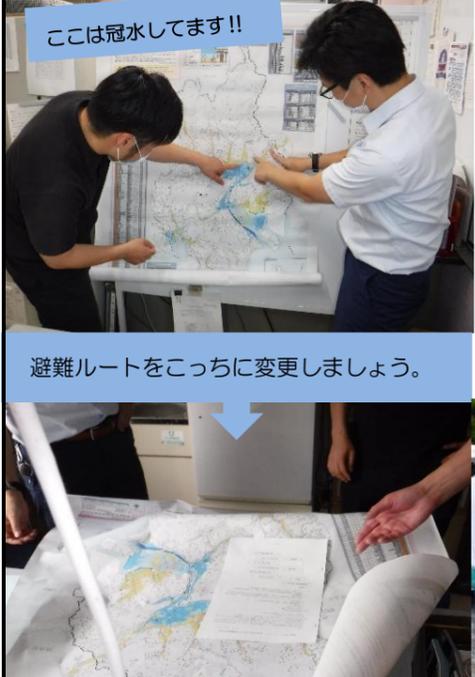
避難訓練の内容としては、前日からの大雨により昼過ぎに大雨特別警報が発令され、防災情報メールが入り緊急で災害防災組織を結成。検討を行った結果バク全体での避難が決まったというものです。

「指揮班」「情報収集班」「避難誘導班」の三班からなる災害防災組織を作り、実際に指揮班は配車決めや名簿・救急箱・AEDの準備、情報収集班は被害状況などの情報収集、避難誘導班は避難ルートの確認を行いその後、利用者者と職員全員が避難を行いました。

実際の避難では、職員間で避難ルートが把握できていない、館内放送が聞こえなかった、トイレから出てこない利用者や移動に時間がかかってしまった利用者などがいた等、様々な課題が明らかになりました。全体的には落ち着いて車に乗り込み避難することができました。

また、今回は新型コロナウイルス感染症防止を考慮しての訓練でもありました。避難が現実となるような事が起きぬよう折るばかりですが、「備えあれば憂いなし」。

今後はより一層の準備と、いざという時に落ち着いて素早い避難が出来るように心掛けていきたいと思えます。



職員紹介



居倉 麻由子 さん  
七月より療育班でお世話になってます看護士の居倉です。私は十四年間病院で勤務をしていました。初めての事ばかりで慣れではありませんがよろしくお願ひします。



高橋 彩 さん  
七月からバク療育班でお世話になります高橋彩です。初めての職場でまだまだ不慣れではありますが一生懸命がんばりますのでこれからよろしくお願ひします。私はお話しすることが好きなので、見かけたらお気軽に話しかけてください。

今後の予定

- 7月15日(水) 内科検診
- 7月18日(土) 土曜開所
- 7月22日(水) 内科検診
- 7月23日~26日 海の日、スポーツの日、土、日で連休となります。
- 8月8日(土) 土曜開所

